

2025 年 9 月 16 日

各 位

会 社 名 E R I ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 馬野 俊彦
(コード番号：6083 スタンダード市場)
問 合 せ 先 広報 I R グループ長 山本 慎一
(TEL. 03 - 5770 - 1520)

報告セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 5 月期第 1 四半期より、報告セグメントを下記の通り変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社グループは、2026 年 5 月期より「E R I グループ中期経営計画（2026 年 5 月期～2028 年 5 月期）」をスタートいたしました。本中期経営計画においては、中核事業における大きな法制度の改定への体制整備と、M&A を積極活用した事業領域の拡大によって、更なる成長を目指すことを大きな柱に掲げており、これらの成長戦略の実行および進捗の適切な管理・評価を行う観点から、主に以下の 2 点の報告セグメントの変更を行うことといたしました。

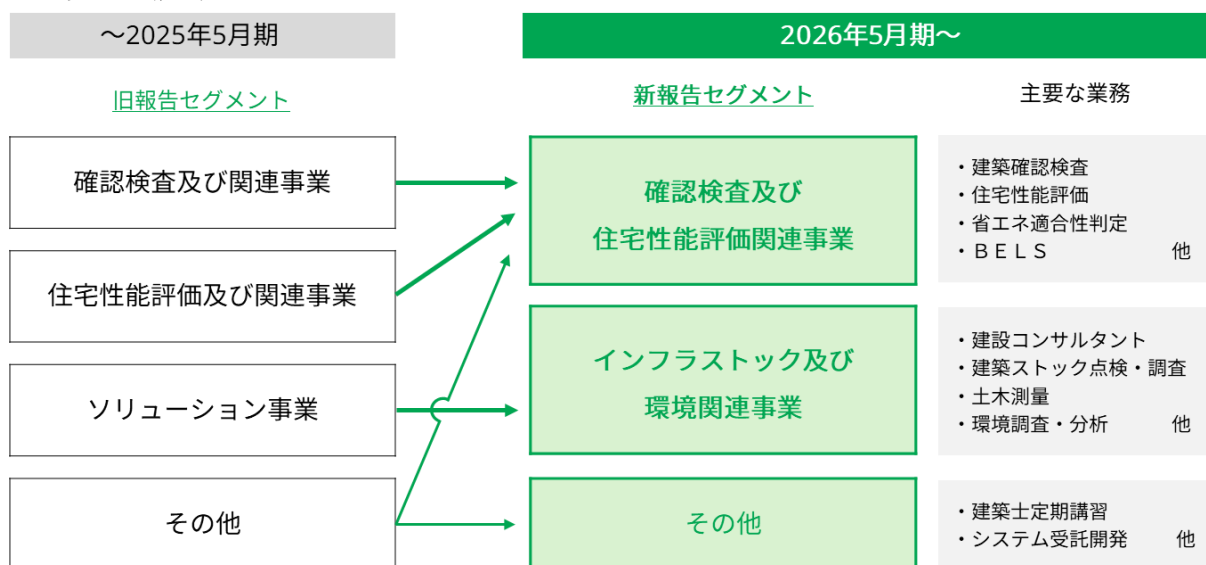
(1) 中核事業関連の変更

2025 年 4 月改正建築物省エネ法及び建築基準法の全面施行が行われ、一部の例外を除いて住宅を含めた全ての建築物の新設において省エネ基準へ適合が義務付けられました。この法改正に伴い、品確法（住宅性能評価）、長期優良住宅の普及の促進に関する法律、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）など異なる法制度等に基づいた業務の合理化が図られる大きな制度変更が行われました。改正法施行に係る業務の円滑化のための政策として、国が制度改正を行ったものであり、当社グループの確認審査機関の業務運営上でも確認検査業務、住宅性能評価業務、省エネ関連業務などを一体的にマネジメントすることが合理的となっています。これに伴い「確認検査業務及び関連事業」、「住宅性能評価及び関連事業」および「その他」に含まれていた省エネ関連などの業務で確認審査機関が並行して行っている業務を、「確認検査及び住宅性能評価関連事業」セグメントに統合一本化することとしました。

(2) 事業領域の拡大に伴う変更

ここ数年のM&Aを梃子にした事業領域拡大施策の成果で、2025 年 5 月期「ソリューション事業」セグメントの売上シェアは 20%を上回るまで拡大しました。「ソリューション事業」セグメントは、当初株式会社 E R I ソリューションが担ってきた建築ストックに係る業務から、建設コンサルタント、土木測量、環境関連、BIM/CIM のモデリングなど、社会資本整備を担う事業を包含・連携して成長を続けてきました。この状況を反映させて、セグメント名称を「インフラストック及び環境関連事業」に変更することとしました。

2. 変更の概要



3. 変更時期

2026年5月期第1四半期決算より、新報告セグメントにて報告いたします。

以 上